



## 発表会の振り付けがはじまりました！

ゴールデンウィークが終わって、発表会の振り付けがはじまりました。作品は「さあ いっしょに」と「わたしたちの神隠し」です。「さあ いっしょに」はお地蔵さんのお話です。さあ いっしょに、だれとどんなことをするのか。「わたしたちの神隠し」は、小学生の女の子と男の子のお話です。かくれんぼをして遊んでいたら、誰もいなくなってしまって・・・2人の冒険がはじまります。

## さあ いっしょに

台本 構成 藤田佳代

研究所の本部スタジオ（神戸市東灘区住吉本町 1 4 - 4）はJR 住吉駅北側 みなと銀行の横の道を北へ50歩ほど、左（西）へ曲がって30歩ほどの所にあります。そのみなと銀行の向いにおじょうさんがいらっしゃいます。さて何体いらっしゃるでしょうか。生徒たちに教えてもらいました。23 25 28といつもまちまちな数を言ってくれます。1995年1月17日の大震災で多くのおじょうさんがこれまでの居場所をなくしたので住吉本町に集まってこられました。時々もといた場所を懐かしく思われてそこへかけていらっしゃいます。

ある日のこと おじょうさんが仲間のおじょうさんにお話をしていたら、そのときは2つお話を聞くことができました。ここ9年ほどで7つ聞けましたので9つのお話を踊りにしました。

おじょうさんからの伝言です10月20日神戸文化ホールへ踊りを観に行きます。わたしたちのことカッコよく踊って下さいね。10月21日～11月9日まで東北の仲間のところへいきます。11月10日の華奈子リサイタルに間に合うようにかえります。

各作品のお地蔵さんたちに意気込みを書いてもらいました。

### プロローグ お地蔵さんたちのお話

- あるきだそう 二河白道 はるかな闇 2011.3.11 (研究科)  
私はおじいちゃんとお墓参りに行く時、最後に六地蔵さんをお参りに帰ります。この前もお墓参りに行ったので、お地蔵さん、1人1人の顔を見てお参りしました。1人1人みんなちがう顔をしていて、いろいろな表情をしていました。私は2つの場面で、お地蔵さんをさせていただくので、同じ表情にならないように、心をこめて踊りたいと思います。今、振付が終わったので、場面を考えて踊れるように練習していきます！！  
稲益夢子(中2 本部ジュニア科)
  - みあげよう この空を (若江岩田、山の街、西山、桂木)  
こんどの発表会はとてむずかしい役をもらいました。1人でおどるところも多いけど、お友達と合わせながらおどるところもたくさんあります。わたしは、ミミズの役のさつきちゃんとしょにまだおどる練習はしてないのでタイミングが合うかどうか、わからないけど、合うようがんばって練習しています。わたしは、おどるときみんなの動きを見ながらしたらわかりやすいから、みんなの動きを見て動くようにしています。わたしは、まだ、しっかりおどれるのは1曲目だけです。これからもっと上手に次の曲もおどれるように練習しないとイケないと思います。がんばってちゃんとおどるのでみんなに発表会に見に来てほしいです。  
村田由佳莉(小4 若江岩田教室)
  - おいかげよう むこうになにかみえるよ (本部火曜日)  
わたしは、はっぴょうかいにむけてがんばってます。いつも、ぶたいに出るときに少しきんちょうするけど、今年もきんちょうすると思います。でも、きちんとどうどうとおどります。  
松山美海(小3 本部児童科)
  - まわろう とおいにからようこそ (有野、西大和)  
私は『いっしょに回ろう』のお地蔵さんです。練習していて難しいところは、曲のテンポはそこまで速くないのですが、踊りのテンポが速いということです。あと、きれいに回ることです。フラフラしてしまったり、ドスツと音をたててしまったりします。だから、本番までには絶対と言えるまできれいに回れるようにしたいです。がんばりたいところは、黄砂が来る時に「いらっしゃい。遠くから有り難う」っていつているみたいになりたいです。あと、お地蔵さんになりきっておどりたいです。  
橘尚海(小4 西大和教室)
  - めをだそう そしてはなをさかせよう 1995.1.17 (本部水曜日)  
私はお地蔵さんのお話を聞いて震災にあった人を元気づけてあげられる作品にできあがり嬉しいです。おどってみて少し早い所とかむずかしいところもありますが、心をこめて笑顔で踊りたいと思います。  
林佑季奈(小5 本部児童科)
  - かぜにのろう どこまでも (学ヶ丘、エコーレ)  
はじめておじょうさんになった時は、うれしかったけど、今はおどりがいっぱいあって、おじょうさんは思ったよりすごく大変だけど、がんばっています。  
仲美咲(小4 エコーレ・リラ教室)
  - みつけにいこう 月へ一番星を (加古川)  
泣いている子はいないかな？寂しい子はいないかな？ みんなの願いをかなえてあげる。さあ、うえを向いてごらん！ ついておいでよ、みんなで一緒に空へ星を捕まえて行く  
北明泉利(小5 加古川教室)
  - ころがろう わたしもきみも38億歳だよ (本部金曜日)  
1にも出演している稲益夢子さんのお地蔵さんです
  - あそぼう わになつて (大久保 兵庫コープ)  
私が、おじょうさんの役になった時、“え～!!?なんで私が～!!?”と、思いました。だけど、おじょうさんは、すべての生き物を見守ってくれているので、おじょうさんになれて嬉しいと思いました。練習を、たくさんして上手く踊れるように頑張ります。  
畠田祥圭(小5 大久保教室)
  - みおくろう 今日の夕日を 1945.8.15 (本部土曜日)  
私はバレーの稽古に行く途中いつもお地蔵さんの前を通ります。私はお地蔵さん一人一人にさまざまな思いや願いがあると思います。私は戦争のときに土に埋まってしまったお地蔵さんを演じます。悲しく残酷な戦争が地球上から消えることを願いながら踊ります。  
岡田彩花(中2 本部ジュニア科)
- エピソード おじょうさんへかえろうか、子どもたち おかえりなさい (リズム)  
元気で明るく行っています。でも、どきどきがまだします。そしてほくのおどりは、子どものおどりで、楽しいです。なぜか。そしてほくはがんばる気もちをわすれたくないのががんばります。  
細田和真人(小3 本部児童科)

### お地蔵さん一口メモ

お地蔵さまの本名は『クシティ・ガルバハ』(梵語)と言い、実は閻魔大王の化身だそうです。それでいて地蔵菩薩は元々、釈迦が亡くなり56億7千万年後に弥勒菩薩が現れるまでの間、衆生を救うことを主な役目として現れた菩薩さまということです。また「クシティ」が「大地」を表すことから農耕民族にとって最大の恵みを齎してくれる「土地」への素朴な信仰と密接に結びつき「田の神・歳の神」とも無理なく融合して民衆の間に地蔵信仰が浸透していったのではないかとされているそうです。

# わたしたちの神隠し

台本 構成 菊本千永

## プロローグ

「もういいかい」「まあだよ!!」「もういいかい」「もういいよ!」 たしかにもういいよと、きこえたから探しに行ったのに、だれもいない、みつからない。みんなはどこへ行ってしまったんだろう・・・。

## 暗闇

「ミクちゃん、だれもいないよ」シンが手を触ったので思わず飛び上がってしまった。あたりはうす暗い。突然ひかるものが目の前を横切っていった。 ツイテオイデヨ 「いってみる?」「うん・・・」わたしとシンはおそろおそろひかるものについて歩き始めた。

## 魔女たちと

よくきたね。到着したところには3人の魔女がいた。こっちにおいで。さあ、世界がうまれていくよ。魔女たちは奇妙なダンスを始めた。すると・・・。

## 世界の誕生

火の誕生 水の誕生 気の誕生 日の誕生 月の誕生 石の誕生 土の誕生 木の誕生 花の誕生

## さようなら

これをあげようね 魔女たちはそう言って青い玉をくれた。この光の道だけを歩いて行くんだよ。途中で何があっても振り返ってはいけないよ。わたしたちは、青い玉をしっかりと持って歩き始めた。突然何かが閉じていく大きな音が聞こえた。けっしてふりかえってはいけない。わたしたちは光の道を見つめてたたまらず歩き続けた。

## エピローグ

「もういいよ!!」あ!なにしていたんだろう、わたしは鬼だったのに。みんなを探しに行かないと。あれ?気がつくと元の場所にいる。あんなにしっかりと持っていたのに青い玉がない。空をみた。土をみた。まわりをぐるりとみた。ああ、みんなある。「めいちゃん!みつけた!!」みんなもいる!

## 活動報告

### 創作実験劇場 2012年2月25日(土) 東灘区民センターうはらホール 17:30開演

出演 寺井美津子 金沢景子 菊本千永 かじのり子 向井華奈子 石井麻子 板垣祐三子 灰谷留理子 梁河茜 平岡愛理 山田麻以 衣川佳子 数越慶子  
本田詠理奈 稲益夢子 宮本幸絵 菊原麻衣花 上田理央 稲益敦子 三木涼音 末吉花林 菊原麻理奈 渡辺菜子 松岡椿 原田光琉 藤田佳代  
拍踏組 大待元輝 岡村和彦 菊原敬 菊本壮永 坂本武士 重友理帆 田中文菜 橋本慧 平岡正之 細田文明 松岡宏昌 梁河奉熙

創作実験劇場を無事終えることができました。舞台は大成功でしたが、この成功は作品「届ける」の拍踏組のみなさんのおかげです。ありがとうございました。10月の発表会でも「届ける」を上演します。まだまだおつきあい下さいませようよろしくお願いたします。

阪神・淡路大震災の地神戸では先日、現代舞踊家藤田佳代さんの研究所メンバーによる公演があり、「届ける」と題した東日本大震災犠牲者への鎮魂のダンスが25人の群舞で披露された。

青い背景の前で子どもたちも交えた踊り手たちは、黒の衣装で手にした下駄を打ち鳴らし、素足で床を踏む。音楽はなく、客席に配した男性ダンサーたちが手拍子と足踏みで呼応する。天を仰ぎ、地に伏し、躍動する。まるで慰霊と支え合いの心がつながり、広がっていくよう。一斉に両腕を頭上に伸ばした姿は、苦難の中からもさまざまな命たちが芽吹く様子に見えた。観衆は万雷の拍手を送った。北村敏泰 中外日報2012年3月8日 「社説：芸術による鎮魂の力 いのちの鼓動届ける」より抜粋

## 独自の表現を探求し続ける

藤田佳代舞踊研究所による《第16回創作実験劇場》が行われ、十作品が発表された。まず主宰者藤田佳代自作自演のソロ『海』で幕を開けた。これは千秋次郎作曲の「海-記憶と希望」によるもの。加齢に逆らわず、今の自分をさらけ出した動きは、波の悠長の繰り返しに重なり、長いときの経過を感じさせた。菊本千永の『なにごともないこの眺め』と金沢景子の『花だより』は、どちらも新旧のダンサーたちをたくみに使いこなしした群舞作品。菊本作品は、最後に登場する若いソリスト菊原麻理奈に、次々と現れるダンスの持つ異なる感触が、急速に集中する瞬間が見どころだった。金沢作品は満開の桜に見立てた群舞を背景に、三人の桜の精たちが順次にソロを見せるというもの。能の舞台を思わせる優雅な進行が華やかな雰囲気をももたらした。

自作自演のソロ作品では、寺井美津子の『音信 私は無事です。』向井華奈子の『柘榴』が目立った。ベテランの寺井の作品は、災害に遭遇したときの等身大の人間そのままを表に出した演技で迫力充分。向井も動きそのものに勢いがある。柘榴の実という本来は動かないものを表すときに、動きの勢いを借りた振付と演技は高く評価できる。かじのり子の『わたしに似た人』は、背景にただ歩くだけの人を使っていただけけれども、これも自作自演のソロに入れてもよい。幼い子どもを置き去りにして死なせた母親の事件を他人事とは思えない作者の切迫した想いが、途切れ途切れの動きの中に見え隠れした。

最後の『届ける』は藤田佳代作。登場するダンサー全員が手に持った下駄でリズムを刻み、その一拍々々を大震災で命を落としたすべての命に捧げようという鎮魂の大群舞だった。ペースを乱さずに、独自の表現を探求し続ける《創作実験劇場初演》には、今回も確かな手応えを感じた。

山野博大 (週刊オン ステージ新聞2012年3月16日号)

### こうべ全国洋舞コンクール 4月29日(日) 神戸文化ホール

昨年の5月からコンクールクラスを始めました。一年間3人は本当にがんばって踊りました。特に最後の一ヶ月は毎回踊りが変化していきぐんぐん上手になりました。初めての挑戦で、楽屋の雰囲気や場当たりなど慣れないことだらけの日だったと思いますが、これはとても貴重な経験。菊原麻理奈さんが奨励賞を受賞しました。おめでとう!!

三木涼音 『あ!新芽。冬の木立の中に』  
菊原麻理奈 『わたしのボールは病気で』 奨励賞!  
藤井花名 『きょうはいい天気』

## 今後の予定

ピッコロフェスティバル2012 8月18日(土) ピッコロシアター  
ダンスブーケ 8月26日(日) 本部スタジオ  
CHARITY LIVE PARTY 9月2日(日) CASH BOX  
山の街自治会敬老の集い 9月20日(月・祝) つくしホール  
ふれあいの祭典2012ひょうご洋舞フェスティバル 兵庫県立芸術文化センター大ホール  
第35回発表会 10月20日(土) 神戸文化ホール  
向井華奈子モダンダンスリサイタル 11月10日(土) 新神戸オリエンタル劇場